

合併推進協議会で確認された方向

項目	内容
組織	・支所または出張所を設置する。 ・関係市町村全てに地域審議会(注1)を設置する。
特別職の職員	・常勤の特別職(市長、助役、収入役、教育長)は、各1名とする。 ・監査委員は3名とし、常勤制度について検討する。
一般職の職員	・職員は新市に引き継ぐが、新たな勤奨退職制度を設けるなど、適正配置に努める。 ・給与については、10年程度で段階的に是正する。
条例	・新市の行政事務が円滑に行えるように調整し、住民生活に支障が生じないよう整備を行う。
一部事務組合等(注2)	・原則として新市に引き継ぐ。ただし、公社等については統廃合を行う。
町名、字名、自治会組織	・現在の市町村名および町名などについては、何らかの方法で残す。
財産及び地方債	・新市に引き継ぐ。(注3)
地方税	・統一を原則とするが、やむを得ない場合は不均一課税とする。
使用料・手数料	・可能な限り統一する方向で検討し、一本化を図る。
国民健康保険制度	・保険料などについては、統一を原則とするが、やむを得ない場合は不均一課税とする。 ・出産・葬祭費などは、当分の間現行どおりとするが、統一された段階で調整する。 ・直営の診療施設は、当分の間現行通りとするが、施設の統廃合について検討する。
介護保険制度	・高山・大野広域連合と吉城広域連合を統合する。

高山市名誉市民 白川博士講演会

白川英樹博士は、電気を通すプラスチックの発見により、2000年にノーベル化学賞を受賞されました。



講演される白川博士

講演会は、8月3日(土)高山短期大学講堂で開かれ、市内の中学3年生など約1000人が聴講しました。講演会では、ノーベル賞のメダルの裏面にデザインされている「自然の女神のペールを開けようとする科学の女神」のことに触れ、自身の体験から自然を知り自然に親しむことで自然に学ぶ楽しさを知ってほしいと話されました。

▶問合せ先 学校教育課(☎35-3154)

(注1) 合併後に旧市町村それぞれの区域住民の意見を反映するため、合併後の市長から諮問を受け、または必要に応じて市長に対して意見を述べることができま

(注2) 介護保険やし尿処理など市町村事務の共同処理組織である一部事務組合、公社、第3セクターなどです。

(注3) 平成12年度末現在、基金残高は320億円(内高山市75億円)です。全会計の地方債(自治体の借金)は、地方交付税(国からの補てん)算入後の実質残高は675億円(内高山市282億円)です。

会議内容や資料は広く公開しています

合併推進協議会の資料は、閲覧できます。7月31日の資料には、それぞれの協議事項について、現状・幹事会における意見・課題・方向が記載され、15市町村の比較も添付されています。

高山市の閲覧場所 市役所1階市民コーナー、図書館
合併推進協議会のホームページ

<http://www.hidanet.ne.jp/~gappei/>

市町村合併推進協議会で 住民に身近な事項の方向を確認

7月31日に第3回飛騨地域合併推進協議会が開催され、合併後において各市町村住民の意見が反映されるよう、「地域審議会」を設置することや、地方債など住民の負担を伴うものについては統一を原則とするなどの方向が確認されました。

15市町村による合併推進協議会では、合併するにあたっての参考とするために、住民の皆さんにとって身近な事項を協議しました。

幹事会での意見を踏まえ、協議により、左表のとおり調整の方向を確認し、今後はこの方向に沿って検討や調整が進められることとなります。

また、合併した場合の財政に関する推計も示されました。合併特別法によって、平成17年度からの10年間に合併特別債の596億円を投資的経費

として盛り込み、まちづくりを行うことと推計しています。

次の合併推進協議会は、8月29日(木)午後3時から、市役所5階全員協議会室で開催される予定です。傍聴を希望される方は、開始15分前までに直接会場へおいでください。定員(20人)を超えた場合は抽選となります。

問合せ先 飛騨地域合併推進協議会事務局(☎35-3184)

タウンモビリティ

まち(タウン)をすべての人にとって移動しやすい(モビリティ)環境に

市は、自力での移動が困難な皆さんに電動スクーターの貸し出しサービスを中心とした地において行うタウンモビリティ事業をスタートしました。この事業は、県内で初の取り組みで、中心市街地の活性化につながることも目的としています。

3台の電動スクーターを高い

市営住宅三福寺団地 10月完成

9月2日から入居者を募集します

三福寺町に建設を進めている市営住宅が10月に完成します。この新しい市営住宅は、民間業者が建設したものを市が借り上げるといふ県内でも初めての試みのもので



完成予想図

構造は、鉄筋コンクリート造7階建てで、間取りは2LDK、また高齢者や障害者の方にも住みやすい全戸バリアフリー対応となっています。入居者の募集は、9月2日(月)から入居者の募集をします。募集戸数は50戸程度で、応募多数の場合は抽選となります。なお、1階については、車椅子を利用されるなど歩行困難な方を優先します。申し込みは、事前に入居条件や添付書類などを都市整備課で確認

の上、所定の用紙で申し込みください。

募集条件
入居予定 10月中旬
家賃 所得に応じ、2万3900円〜5万2500円程度(共益費として別途約2千円必要)
申込資格
所得月額 20万円以下、高齢者、障害者などの世帯は26万8千円以下
市税等の滞りがない方
申込期間 9月2日(月)〜10日(火) (月・金曜日)の午前8時30分〜午後7時
申込・問合せ先 都市整備課(☎35-3176)

市民施設めぐり参加者募集

市は、市民の皆様にも市政に対する理解を深めていただくこと、施設などを見学する「市民施設めぐり」を毎年行っています。

今年は、9月19日(木)、全国和牛能力共進会の会場(清見村)や資源リサイクルセンターなどを見学します。午後1時に市役所に集合し、午後5時ごろに解散の予定です。参加費は無料です。

参加を希望される方は、はがきに「市民施設めぐり」と明記し、住所・氏名・電話番号を記入の上、9月4日(水)必着でお送りください(1枚のはがきに2人まで)。定員(80人)を超えた場合は抽選となります。

▶申込・問合せ先 企画課(☎35-3134)

中山テニスコートが 夜間も利用可能になります

現在、中山公園球場南側にある中山テニスコートに夜間照明を取り付ける工事を行っています。6面あるコートのうち、入口側の3面が9月17日(火)から夜間も利用できるようになります。

夜間使用申請の受け付けは、10月末までの使用について8月15日(木)より行います。

なお、工事に伴い一部使用できない期間がありますので、ご注意ください。

▶問合せ先 生涯学習課(☎35-3157)